

## 仙台防災未来フォーラム 2017 に参加しました (2017/3/12)

テーマ：復興、防災・減災、仙台防災枠組  
場所：仙台国際センター（宮城県仙台市青葉区）

2017年3月12日(日)に、仙台国際センターにおいて、仙台市が主催で、「仙台防災未来フォーラム 2017」が昨年に引き続いて開催されました。このフォーラムは、震災経験の伝承、地域防災の次代の担い手づくり、人々の多様性と防災などのさまざまなテーマから、「伝える」ことの大切さや今後の課題について理解を深め経験や教訓を世界へ、そして将来へどのように受け継いでいけばよいのかを考えるために実施されました。当研究所からは以下の者が、コーディネーターや講演者としてセッション等に登壇しました。

- テーマセッション A：ともに考える防災・減災の未来～「私たちの仙台防災枠組講座」、「『結』プロジェクト」合同報告会～

【パート1】開会・講座概要、まとめ、【全体講評】：今村文彦 教授（災害リスク研究部門）

【パート2】開会・プロジェクト概要、まとめ：保田真理 助手（災害リスク研究部門）

- クロージング

コーディネーター：今村文彦 教授（上述）

各テーマセッションからの報告：【テーマセッションA】保田真理 助手（上述）、【テーマセッションD】佐藤健 教授（情報管理・社会連携部門）

また、ブース展示には、当研究所から以下の3グループが出展し、東日本大震災の教訓が熊本地震に活かされたことや津波シミュレーションに関する展示を行うとともに、防災・減災スタンプラリーを実施し、2017年11月に当研究所が事務局で開催予定の「世界防災フォーラム」の広報も行いました（WebサイトURL：<http://www.worldbosaiforum.com/>）。

- 産官学連携WG：丸谷浩明 教授、寅屋敷哲也 助教（人間・社会対応研究部門）、福島洋准教授（災害理学研究部門）
- 減災ポケット「結」プロジェクト：保田真理 助手（災害リスク研究部門）
- 地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門&災害リスク研究部門津波工学研究分野：山下啓 助教、安倍祥 助手、林晃大 助手（寄附研究部門）、サッパシー アナワット 准教授（災害リスク研究部門）



セッションAのまとめ（保田助手）



展示の様子（産官学連携WG）

文責：寅屋敷 哲也（人間・社会対応研究部門）  
次頁へつづく



展示の様子（寄附研究部門・災害リスク研究部門）



防災・減災スタンプラリー



クロージング